



発行: 京都大学大学院 医学研究科
 エコチル調査 京都ユニットセンター
 住所: 京都市左京区吉田近衛町
 電話: 075-366-7400 (月~金 9:00~17:00)
 メールアドレス: info@ecochil-kyoto.jp
 ホームページ: http://ecochil-kyoto.jp/
 発行日: 2013年09月12日

スタッフのつぶやき



京都ユニットセンターのスタッフが交代でつぶやきます



エコチル調査京都ユニットセンターの小西行郎(こにし ゆくお)です。同志社大学大学院心理学研究科で赤ちゃん研究をしている小児科医です。センター長の小西郁生教授とは出身地は香川県で高校も大学も同じ、氏名もほぼ同じということで間違えやすいとスタッフから苦情もありましたが(文句を言われても困るのですが)、副センター長ということで参加しています。

エコチル調査はコホート調査といわれるもので、同じ集団を長期的に観察研究するという手法ですが、この方法は基本的には小児科医の仕事と同じだと思っています。つまり、生まれたころからずっと長くお付き合いをしていただきながら、成長発達を見守るのが小児科医の仕事なので、この調査も同じことと思っています。

今度の調査では数千人の赤ちゃんの成長発達を見守ることができるので、小児科医としては夢のようなことでとても楽しみにしています。

長いお付き合いをさせていただきながら少しでも参加していただいた方へ役に立てることがあればうれしいのですが、どうか困ったことや悩まれるようなことがあれば気軽にご相談ください。ともに子どもの成長発達を見守ってゆきたいと思っています。

夫婦ともに小児科医の共働きで、4人の子どもを育ててきました。おむつも洗ったし、ご飯も作ったし、イクメンを先取りした形ですが、妻からは「どうせあなたの育児はしたいときにしただけのもの、私はしたくない時でしなればならなかった。」といわれています。

とは言いつつもすでに6人の孫もいて、この調査にいつまで参加できるのやら…ちょっと心配。



京都ユニットセンターからのお知らせ

エコチル調査にご協力くださり、ありがとうございます！エコチル調査は、全国15のユニットセンターで、3年間で10万人の妊婦さんを登録することが目標です。

妊婦さんの登録は2011年の1月から始まりましたので、お声がけは、来年の3月末まで、あと半年となりました。

エコチル調査の進み具合



①全国の状況

15地域のユニットセンター全体での登録数は、2013年8月現在、80397人です。予定通りに登録が進んでいます。

②京都ユニットセンターの状況

京都ユニットセンターの妊婦さんの登録目標は約4000人で、現在2996人です(生まれた赤ちゃんは2151人です)。わお!目標まであと800人くらいのご協力が必要です。

③というわけで、お友達にお声がけをお願いします

みなさんのまわりに、木津川市、左京区・北区、長浜市在住の妊婦さんがいらっしゃいましたら、エコチル調査にお誘いください。出産直前まで登録できますよ!

登録期間終了にともなう
同意書の提出期限のお知らせ



- ・保健センターや病院での妊婦さんへのお声がけは、2014年3月末で終了します。
- ・病院での同意書の受取りは、2014年5月末日にしております。

電話&FAX番号の変更

京都ユニットセンターの移転に伴い、**電話とFAX番号**が変更となりましたので、お知らせいたします。

ご面倒をおかけしますが、電話番号の控え等、ご訂正ください。※住所に変更はありません。

- 新電話番号 075-366-7400 (旧:075-753-9499)
- 新FAX番号 075-751-1721 (旧:075-753-9517)

ご協力いただいているみなさまへのお知らせ
— 疾患情報登録調査が始まりました —

1歳時及び6か月以降の質問調査票の中で、お子さんが下記の疾患と診断されたことを教えていただきました場合、病気に関する詳しい情報(診断、検査値、治療の内容など)の提供にご協力いただく調査が始まりました。

該当された皆様には、京都ユニットセンターからご了承をお願いするためのご連絡をいたします。ご協力により得られた結果は、子どもたちの健康と環境についての研究データとして、大切に活用させていただきます。どうぞご理解とご協力をお願いします。

《対象疾患》

川崎病、染色体異常及び心疾患以外の先天奇形、先天性心疾患、内分泌・代謝異常、てんかん



協力医療機関登場！

森産婦人科 院長 森 治彦(もり はるひこ)先生



京都ユニットセンターにご協力いただいている、京都の北区・左京区、木津川市、長浜市の約20の医療機関から、今回は左京区の森先生にご登場いただきました。



たばこに関する貴重な情報ありがとうございました！

エコチル調査では、赤ちゃんに対して影響する可能性のある因子を調べます。食事や農薬、黄砂や、喫煙、飲酒、ストレスとなる出来ごとなど、いろいろです。これらの中で我々の身近ですぐに念頭に浮かぶのは喫煙の影響でしょう。

この喫煙の影響について毎日赤ちゃんに接している者として一考を述べたいと思います。

最近は少なくなりましたが、妊婦健診でタバコの匂いのする妊婦、出産直後どうしてもタバコが吸いたいというお母さんや、夫がよく吸う、という方もおられます。

赤ちゃんはこれからどうなるのかなあと心配せざるをえません。というのは、喫煙者は、ニコチン依存症の患者さんと考えられているからです。喫煙者のみなさんは、タバコががんを誘発したり促進したり自分の健康に被害を及ぼすということはわかっていても、赤ちゃんのためにやめましようと言うと、心配は心配だけどという程度で完全にはやめてくれないことが多いのです。薬については、妊娠中や授乳中に服用することを心配されるのですが、喫煙についてはなぜか気にされないのですね。

30年前、私がアメリカの大学病院にいる時は、医者や医療関係者は喫煙してはいけないと教育されました。その後日本でも喫煙率は低下し、病院内や公共施設などでは禁煙になりましたが、レストラン、カフェでは分煙もされていないところも多く、禁煙が徹底されていません。＜健康増進法＞ができて、禁煙活動が広がっていますが、名前からしてインパクトがありませんね。＜タバコ害防止法＞とすべきでしょう。

自分では吸わない人も、人の煙を吸い込む「受動喫煙(じゅどうきつえん)」が問題です。たばこの臭いが服や髪の毛につきますが、単にくさいだけではなく、有害な物質を含んでいることが、映画「インサイダー」のモデルとなったワイガンド博士も語っています。

エコチル調査では、特に胎児、赤ちゃん、子どもへのさまざまな物質や要因の影響をなくすための科学的、長期的な詳細なデータの集積が可能であり、健康被害を裏付けられる極めて有益なプロジェクトであると大いに期待しています。

エコチル・ノートとホームページ「それいけエコチル・キッズ」完成！

投稿してね



編集長の佐藤です。エコチルに参加してくださっているみなさま、ご協力ほんとうにありがとうございます！

京都ユニットセンターでは、せっかくいただいたご縁、みなさんも私たちも何かしら楽しいなと感じられることがあればと思っております。というわけで(どういうわけだ)、お子さんの成長を記録していただける「エコチル・ノート」を制作し、子どもの爆笑エピソードなどを投稿していただく「それいけエコチル・キッズ」のコーナーをホームページ(HP)に設けてみました。楽しい投稿をお待ちしております。今すぐ京都ユニットセンターのHPにアクセスだ！

エコチル・ノート

構想から苦節2年の時を経て(なんと大げさな、でもホント)ようやく完成しました。お誕生日ごとに1枚(裏表2頁)のシートをお送りしますので、「おもしろかったこと」など、なんでも記載して、エコチル・バインダーに保管してください。

「それいけ エコチル・キッズ」

京都ユニットセンターのHP「エコチルどすえ」に、「それいけエコチル・キッズ」のコーナーを新設しました。エコチル・ノートに、お子さんのおもしろいエピソードを書かれまして、それをHPも投稿していただいて、共有させてください。投稿方法はいたって簡単で、HPにアクセスし黄色いでかいバナーをクリック、「メールを送る」がありますので、それをクリックしてテキストを入力、送信してください。採用させていただいた場合は、心ばかりの小さなプレゼントを差し上げます。投稿の内容は、お子さんのこと以外でも、親御さんの子どものころのお話でもいいです。参加者の方々だけでなく、エコチル調査にご協力いただいている医療機関、自治体、大学関係者であればなたでも結構です。「自分はこんな子だった」など、どんどん投稿してください。佐藤(ぴっち編集長)、金谷(つつ副編集長)、杉山(ぱっち編集員)が担当します。

おしえて！美保先生

今回は、感染症とワクチンのお話しじゃ



その1 風疹と免疫のはなし！

うさ麻呂：最近、風疹が流行してるそうじゃな。疫病(感染症)が問題になるなんて、平安時代みたいじゃ。

先生：今はワクチンがあるから、昔に比べたらよくなったのよ。

うさ麻呂：んじゃ、なんで今問題になっとるんじゃ？特に日本は、麻疹の輸出国とか言われているみたいじゃが？

先生：それにはねえ、深いわけが・・・

うさ麻呂：もったいぶらないで、教えてくれないかのう？

先生：じゃあ、風疹で説明しますね。風疹は、「風疹ウイルス」という小さな病原体に感染することでおこります。うさ麻呂さんは、子どもの時に風疹にかかったかしら？

うさ麻呂：わしは覚えておらんが、子どものころかかったと母から聞いた覚えがあるぞよ。発疹がでて熱も出たそうじゃ。でも、一度かかったら、もうかからのじゃろ？

先生：風疹ウイルスにかかると、身体の中に風疹ウイルスに抵抗する物質ができるんです。「抗体(こうたい)」というんですけど、このおかげで、次に風疹ウイルスが身体に入ってきたとしても、かからずにすむのね。これを「免疫(めんえき)」といいます。

うさ麻呂：免疫か。うまいしくみじゃ。でも、二度かかる人もいるときくぞよ。

先生：抗体の量が不十分な人もたまにいるので、そういう人は二度かかってしまいます。

うさ麻呂：ふーん。そういう人とか、子どもの時にかからなかったために身体に抗体がない人は、どうするんじゃ？

先生：風疹自体は、まれに重篤な症状がでる人はいますが、だいたいは発疹や発熱くらいですむので、本人がかかる分には大きな問題はありませぬ。

うさ麻呂：何が問題なんじゃろう？

その2 風疹と妊婦さん



先生：お腹に赤ちゃんがいる人がかかるのが問題なの。妊婦さんが風疹の抗体をもっていないと、妊娠初期に風疹にかかると、赤ちゃんに、難聴や白内障や心臓の形の異常といった症状が出るということが知られています。「先天性風疹症候群」というんです。

うさ麻呂：そりゃ、たいへんじゃ。妊婦さんは気をつけないといけないのう。

先生：そうなんです。とくに、妊娠12週ぐらいまでにかかると、赤ちゃんに障害が出る可能性が高いと言われています。発症するリスクは妊娠週数が進むにつれて減って、20週以降の感染では、問題はほとんどないとされています。

その3 予防接種について



先生：風疹はワクチンがあって、かかったことのない人は、接種することが推奨されています。

うさ麻呂：そもそも、ワクチンってなんじゃ？

先生：ある感染症にかかったことがない人に、その病原体を弱くしたものなどを接種して、身体の中に抗体を作らせるのよ。

うさ麻呂：症状が出ない程度にわざと感染症にかからせておいて、身体に抗体を作らせる、ということじゃな。

先生：そうです。予防接種の多くは、そのようなしくみを利用しています。

うさ麻呂：考えた人はえらいのう。

先生：ジェンナーの種痘(しゅとう)とかが有名かしらね。

うさ麻呂：んで、妊婦さんは、風疹のワクチンを打ったらよいのかのう？

先生：風疹のワクチンは、弱毒化はしていますが、生のウイルスなので、妊娠中は接種しないことになっています。予防接種を受けるのは、妊娠する前か、出産した後がいいですね。

うさ麻呂：そう言われると、妊娠に気がつかないで接種しちゃった人は心配になるのう。

その4 予防接種は誰のため？

うさ麻呂：今、風疹にかかっている人の多くが男性で、しかも20歳から40歳代の人が多いそうじゃな。この人たちが、職場や家で、抗体をもたない妊婦さんに接触したら、よくないのう。

先生：そうですね。なので、男性も抗体をもっていない人は、予防接種を受けていただきたいです。

うさ麻呂：どうして抗体をもっていない人たちがそんなにたくさんいるんじゃ？

先生：今は、風疹の予防接種は小学校入学前までに全員が受けることになっていますが、予防接種制度の変化によって風疹の予防接種が行き渡っていない「谷間の世代」があるのです。

うさ麻呂：予防接種を受けていない、谷間の世代か…。

先生：そうなの。風疹ワクチンは1977年から女子中学生を対象に接種され、1995年の予防接種法の改正で接種の対象が1歳～7歳半の男女に変更されました。自治体によってはこの谷間世代に対する経過措置をとられたところもあるようですが、全体で見ると不十分で、最近の大流行につながっているのでしょうね。

うさ麻呂：自分や家族が気をつけていても、世の中で流行していたら、赤ちゃんを産むお母さんや赤ちゃんは風疹から守るのう。

先生：そうなんです。妊婦さんや赤ちゃんを風疹から守るためには、個人的対策として、妊娠する前に女性はワクチン接種により風疹に対する免疫を作っておくこと、社会的対策として、ワクチン接種を徹底し風疹の流行を制御して妊婦さんが風疹ウイルスにさらされないようにすること、どちらもが大切なのです。

うさ麻呂：風疹以外にもワクチンで防げる病気はあるのかのう？

先生：結核や風疹、麻疹、ポリオ、ジフテリア、百日咳、破傷風(三種混合・四種混合)、日本脳炎などは定期接種で、定められた期間内では公費負担で受けられます。乳幼児の髄膜炎の原因になる肺炎球菌やヒブの感染も任意接種で防げるのよ。

うさ麻呂：自分が風疹の抗体をもっているかどうかは、お母さんになる人はみんな知ってるの？

先生：初期のころの妊婦健診で、風疹を含めてお母さんから赤ちゃんに感染する可能性のあるいくつかの感染症について血液検査をしています。

うさ麻呂：そこで、風疹の抗体がないとか、少ない、という妊婦さんは、どうしたらいいんじゃ？

先生：風疹は、飛沫感染といって、くしゃみで飛んだ唾液などを介して感染します。なので、妊娠20週になるまでは人ごみや子どもの多い場所を避けるのがよいでしょう。もちろん感染している人のそばに行かないことは重要です。それから、「手洗い」も大切です。風疹の感染予防に限ったことではありません。

うさ麻呂：今は、予防のために「ワクチン」というのがあると聞いたが、それを打つわけにはいかんのかのう？

先生：妊娠を知らずに接種した人とその赤ちゃんを調べた研究があって、赤ちゃんに障害が出たことは報告されていないので、問題ないとは言われています。でも、妊娠がわかっている人は避けましょう、という意味です。

うさ麻呂：妊娠初期の検査で、風疹の抗体が少ないことが分かった場合は、どうしたらいいんじゃ？

先生：パートナーやその同居のご家族の予防接種をお勧めします。職場などでの感染や妊婦さんにうつすことを防ぐためです。抗体の少ない妊婦さん本人は出産後には是非接種していただきたいですね。

うさ麻呂：じゃ、初めての妊娠を考えている人は？

先生：以前風疹にかかったか予防接種を受けたかが不明な方やご心配な方は、抗体検査(血液検査)をお勧めします。抗体が少なかった場合、妊娠していないことを確かめてから、ワクチン接種を受けてください。ワクチン接種からおよそ2か月間は避妊してくださいね。

うさ麻呂：なるほどね。でも、そんないいものがあるなら、みんなが子どものころに受けていけば、「風疹が流行する」なんてことはないはずじゃろ？ げんに、日本脳炎とか、昔は恐ろしい感染症だったのが、いまは流行することはなくなってるじゃろ？

先生：そこが大きな問題でね…。

うさ麻呂：定期接種以外のものも、さっきの「流行の制御」のことを考えたら、みんなが受けた方がいいんじゃな？

先生：そうなんです。自分もかからない、だから人にもうつさないことを願ってね。妊婦さんや出産後のお母さんが持つておられる母子健康手帳は、お子さんにとって貴重なワクチン接種の記録帳でもあります。お子さんが大きくなって、将来お父さんお母さんになるときまでには、ご本人に渡してあげてくださいね。

うさ麻呂：うーむ、大切なことじゃのう。それに、防げる手立てがあるのなら、それを使わないのはもったいないのう。

先生：日本赤十字社医療センターの菌部(そのべ)先生は、「ワクチンを受けることは、自分も社会も守る愛の行為だ」とおっしゃっておられますが、親御さんには、きちんとご理解いただければありがたいです。

うさ麻呂：平安時代にこれがあれば、みんな健康でいられるのに…。持って帰りたいくらいじゃ。

先生：ほんとですね。ワクチンは、人類の英知ですので、それを使わない手はないと思いますよ。

うさ麻呂：昔は、八坂神社にお祈りするしか手立てがなかったから、隔世の感があるのう。

先生：八坂神社ね。祇園祭りも疫病退散のお祈りですもんね。

先生&うさ麻呂：みなさん、「ワクチンデビューは、生後2ヶ月の誕生日」ですよ～。

ワクチンで防げる病気(VPD)のことを詳しくお知りになりたい方は、以下にアクセスじゃ。

VPDを知って子どもを守ろうの会

<http://www.know-vpd.jp/>



コーディネータどすえ

コーディネータは、妊婦さんにエコチル調査に参加していただくために、保健センターや病院で、エコチル調査の説明をしています。今回は、長浜地区のコーディネータのご紹介です。

【長浜市役所】

コーディネーターを務め始めてから、早いもので丸2年が過ぎました。母子手帳を受け取りに来る妊婦さんに調査の説明をするために、午後は毎日市役所にいます。

健康推進課ということもあり、老若男女、様々な方が来庁されます。私が座っている場所からは受付カウンターが見えます。

来庁者の方がいらっしゃると、必ず目が合います。

いつもは市の職員さんが素早く対応してくださるのですが、忙しいときは、来庁者の方が、目が合う私に「早く対応して！」とのサインを送ってこられます。私は、立ち上がりあたりをきよろきよろしながら、職員さんを探す日々です。

今日もたくさんの方のご来庁、願うばかりです。(久保)



長浜って
いい所ね！



伊吹山山頂のお花畑にて
紫の花は「ルリトラノオ」という
伊吹山の固有種

【佐藤クリニック】

佐藤クリニックへは、参加者さんが提出して下さった同意書や調査の進行状況を確認するために、週1回うかがっています。フロントでたかわれている、よい香りのアロマを毎週楽しみにしています。赤ちゃん好きな私はご家族にまぎれて、新生児室をのぞきこんでは産まれたばかりの赤ちゃんに癒されています。もちろん調査はしっかりしています！(阿藤)

先日、子どもと琵琶湖に行きました。外は気温35度。水から上がりたくないらしく、ずっと浮き輪でプカプカ浮かんでいました。写真右上の小さな島は竹生島(ちくぶしま)。日本三大弁財天のひとつとされる神社があります。船でしか行けない秘境です。



【長浜オフィス】

主にオフィスにてデータ管理を中心に事務作業をしております。長浜の参加者さんのデータすべてに目を通している毎日ですが、同意書を出されてから1ヶ月健診までの間、さまざまなケースを目の当たりにします。

どのお母さまも、本当に命がけて産んでおられるんだな...と生命の尊さを感じます。

改めて、健康に生まれてくることは奇跡で、生きている今日は当たり前ではないことを実感する日々です。(近藤)

編集後記



皆さんの気持ち、コーディネータさんの思い、そして調査を企画した研究者の願い。形になったときに、皆で喜びあえたらいいなあ。長浜の空をみていると、そんな日も遠くないような気持ちになります。(へへ) かなたに



病院では、こういうことを
しておるのじゃな

【市立長浜病院】 コーディネータの1日

9:00 産婦人科外来

- ・新たな参加者さんの同意書の確認と回収
- ・参加者さんの進行状況とスケジュールの確認
- ・採血採尿キットの準備

10:30 産婦人科病棟とNICU(新生児集中治療室)

- ・出産間近の方の出産時採血キットの準備
- ・書類の確認と回収

11:00 産婦人科外来

- ・調査票等の記入と確認
- ・採血採尿キットの準備

12:30 休憩

13:00 小児科外来

- ・1ヶ月健診の準備
- ・1ヶ月健診に来た参加者さんと赤ちゃんに挨拶
- ・母乳とお子さんの髪の毛を分けて下さるよう依頼
- ・赤ちゃんの身体計測の立ち合い
- ・調査票等の整理

15:30 オフィス

- ・調査票等を回収

水曜日の午前中、詳しい説明をご希望の妊婦さんやご家族がいらっしゃいましたら、産婦人科外来にて調査についてエコチルスタッフからご説明させて頂く事もできます。気軽にお声がけ下さいね。(松岡)

【長浜赤十字病院】 コーディネータの1日

9:30 産婦人科外来

- ・当日受診予定の参加者さんの採血採尿キットの確認
- ・新たな参加者さんの同意書や採血完了の伝票等を回収
- ・参加者さんの進行状況を確認
- ・採血採尿キットなどの準備

妊娠届出書を受け取られた妊婦さんへ
エコチル調査についての説明を行います(^^)

10:00 小児科外来

- ・1ヶ月健診が終了した参加者さんの書類を回収

10:30 検査室

- ・お子さんのろ紙採血の伝票を回収

11:00 産婦人科病棟

- ・出産が近い方の採血採尿キットを準備して病棟へ持参
- ・病棟での調査票等を回収
- ・出産・退院状況、またNICU入院状況など確認
- ・出産された参加者さんのお部屋を訪問

その時に1か月健診のご案内カードを
お渡ししています(^^)

11:30 小児科外来

- ・参加者さんの1ヶ月健診の予定日が決まったら、小児科外来へ連絡
- ・健診日が近い参加者さんのキットを小児科外来に準備

11:40 再び産婦人科外来

- ・翌日、翌々日に受診予定にある参加者さんを確認
- ・受診日にエコチルの採血が予定されている参加者さんがいればキットを準備

12:00 休憩

13:00 オフィス

- ・調査票等の記入と確認
- ・不足しそうなキットなどがあれば補充

(上田)

参加者さんのことを
見守っているんだね

